資料 4

松山圏域における感染症対策について

１　高齢者施設等における感染症対策の取組み
「感染症対策マネージャー養成事業」について

２　感染症危機管理対応訓練
「新型インフルエンザ等感染症対応訓練」について

愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー養成事業

令和６年度からの新規事業

【現状と課題】

・新型コロナの第７～８波において、高齢者施設クラスターが多発し、医療のみならず介護も必要とする 高齢者の入院長期化等により、県では、医療ひっ迫警戒宣言を発出した。

・高齢者施設等におけるクラスター発生時、感染対策に関する窓口が不明確である施設も見受けられ、窓口が明確であっても、入院調整を依頼するケースが多数あった。

・５類移行後、松山圏域における施設の集団発生報告数は県内圏域最多の103件。（R6.2.27時点）

課題①：施設職員の感染対策の知識に差。
課題②：クラスター発生時、感染対策のリーダー的存在の職員が不明確。
課題③：外部の感染対策の専門家との連携や好事例を共有できる仕組みがなかった。

＜方向性＞

感染対策の知識を習得　＋　関係者同士の連携　＝　感染症に強いまちづくり

【事業内容】

①感染症対策マネージャー養成研修会の実施

・受講した施設職員に修了証を交付。

②感染症対策マネージャー連携会議の開催

・圏域内のICNの助言を得ながら、マネージャー同士が、平時からの課題や有事における対策（好事例）を共有。

③感染症対策の教材作成・公開

・自施設の感染対策に活用してもらうため、いつでも、どこでも、だれでも学べる教材を作成し、県HPに公開。

愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー養成事業

事業を効果的に実施するため、**事業実施企画会議**を開催

- **構成メンバー**
  - 松山圏域の医療機関に所属する感染管理認定看護師
  - 施設職員（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、養護老人ホーム）
  - 愛媛県看護協会
  - 松山市保健所
  - 中予地方局地域福祉課
  - 愛媛大学大学院医学系研究科感染制御学講座（アドバイザー）
  - 中予保健所（事務局）
- **協議事項**
  - 養成研修会（目的・目標、対象、内容、方法、評価等）について
  - 教材（内容、配信等）について
  - 連携会議（方法、内容等）について
- **開催日**

【第1回】令和６年８月21日　　【第2回】令和７年１月28日

愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー養成研修会・教材

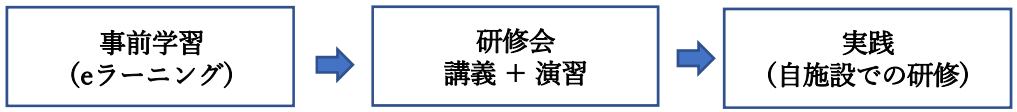
● 目的

高齢者施設等において感染症対策の基本的な知識を有し、**中心的な役割を担うことができる「感染症対策マネージャー」を養成**し、施設内で感染者が発生した場合に、**感染者の対応を行う医療機関と連携して施設内で感染者の療養を行う**ことや**他の入所者への感染拡大を防止する**ことを目的とする。

● 研修体系

（1）**ベーシックコース**と**アドバンスコース**を設ける。

（2）アドバンスコースは、ベーシックコースを修了した者を対象とする。



● 目標（ベーシックコース）

感染症対策について、**施設の特徴に合わせた表現で説明する**ことができ、**業務の特性に応じた対応の基本を理解し実践に向けた動機づけ**となることを目標とする。

（ア）高齢者施設における**早期に発見したい感染症の特徴**について説明できる。

（イ）高齢者施設での**介護や看護ケアの場面別感染予防策**について説明できる。

（ウ）**手指衛生**の適切な実施、**個人防護具**の適切な選択と使用について説明・実演できる。

（エ）高齢者施設における**環境整備**のポイントについて説明できる。

（オ）高齢者施設における**入所者及び職員の健康管理**について説明できる。

● 対象者（ベーシックコース）

松山圏域の介護老人福祉施設、介護老人保健施設及び養護老人ホームの職員で、施設長が推薦した者とし、職種は問わない。

愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー養成研修会・教材

- **内容（ベーシックコース）**
  - ・**事前学習**（動画の視聴）：手指衛生、個人防護具の着脱
  - ・**集合研修**

    【講義】感染症の基礎知識、手指衛生、基本的な感染予防策、環境整備、入所者・職員の健康管理

    【実習】手指消毒、個人防護具

- **評価（ベーシックコース）**
  - ・方法：**事前、事後アンケート調査**

    【事前】知りたいこと、自身の知識　等

    【事後】事前学習の実施、自身の知識、自施設での実施、満足度　等

- **教材（ベーシックコース）**
  - ・講義の動画及び資料
  - ・確認クイズ（○×クイズ）

    ➡　各県保健所のホームページに掲載

・マネージャーが自施設での研修に活用できるように
・誰もがどこでも確認できるように

感染症対策マネージャー養成研修会（ベーシックコース）
研修内容

1　事前学習（eラーニング）

方法	内容	教材
動画の視聴	・手指衛生（12分19秒） ・個人防護具の着脱（16分57秒）	愛媛県看護協会作成の動画 【YouTube　愛媛県公式チャンネル】 ・2-1　感染対策：手指衛生 https://www.youtube.com/watch?v=SAc8zn81eJo ・2-2　感染対策：個人防護具の着脱 https://www.youtube.com/watch?v=2r-2sbAHyjc

2　集合研修

方法	項目	内容
講義①	①感染症の基礎知識	・感染症とは ・感染の成立と発症の違い ・施設での感染対策の重要性 ・施設で注意すべき感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、感染性胃腸炎、疥癬）
講義②	②手指衛生	・手指衛生の重要性 ・手指衛生5つのタイミング ・手指衛生のポイント ・消毒薬の選択 ・洗い残しの防止 ・手荒れ対策
講義③	③基本的な感染予防策	・個人防護具の使い方（目的、選択、注意点） ・施設での介護や看護ケアの場面別（食事・口腔ケア、排泄、入浴等）感染予防策 ・個人防護具の着脱手順
実習	手指消毒	・効果的な手順
	個人防護具（PPE）	・着脱手順
講義④	④環境整備	・清潔不潔の区別 ・清掃の目的とポイント（よく触れる場所） ・消毒薬と効果 ・物品管理 ・換気のポイント
講義⑤	⑤入所者・職員の健康管理	＜入所者＞ ・平時からの入所者の状況把握が重要 ・入所者の健康状態の観察 ・バイタルサインの測定 ・職員間での情報共有 ・専門職への早めの相談
		＜職員＞ ・職員の感染対策の基本（身だしなみとセルフケア） ・感染回避行動の徹底 ・体調管理 ・持ち込まない対策 （職員の健康状態確認とユニバーサルマスキング） ・広げない対策
全体会		・質疑応答 ・施設で実践する際のポイント　等

愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー養成研修会（ベーシックコース）

- 参加者
  ３６名（３５施設/８８施設）
  約４割の施設から参加

- 事前・事後アンケート調査結果
  ３６名（３５施設/８８施設）： 回答率 １００％
  - 自身の知識に関する質問（講義内容を説明できるか）については、事前アンケートでは**約6割**であったが、事後アンケートでは**9割以上**となった
  - ほぼ全員（97%）が、研修会に満足と回答
  - 施設に持ち帰り役立てたい、ステップアップの研修にも参加したいとの声

愛媛県中予保健所感染症対策マネージャー養成事業

■ 今後の取組 ■

【令和６年度】

- マネージャー連携会議の開催（R7.3/6）
  - ➡ ・平時の感染症対策、施設研修について
    ・ICNとマネージャーが顔の見える関係づくり
- 教材の周知と活用した施設研修の促進

【令和７年度】

- 事業実施企画会議の開催
  - ・マネージャー連携会議（3月）の振り返り
  - ・ベーシックコースの内容等を確認
  - ・アドバンスコースの内容等を検討
  - ・教材の作成、見直し等
  - ➡ 研修会及び連携会議の開催、教材の活用促進

新型インフルエンザ等感染症対応訓練

【合同訓練】

● **目的**

新型インフルエンザ等について、**本県における初発事例を想定し、実践的な訓練**を実施する。

● **参加機関**

愛媛大学医学部附属病院（第一種感染症指定医療機関）
愛媛県健康増進課、衛生環境研究所、中予保健所、松山市保健所ほか

● **日時**

令和６年８月27日（火）13：00～17：00

● **場所**

愛媛大学医学部附属病院

● **訓練の流れ**

発生届受理（松山市HC）⇒ 患者移送調整（県庁→愛大）
⇒ 患者移送・受入（松山市HC→愛大） ⇒ 検体採取（愛大）
⇒ 検体搬送（中予HC→衛研） ⇒ 積極的疫学調査（中予HC）

新型インフルエンザ等感染症対応訓練

【中予保健所の訓練】

中予保健所においては、合同訓練と連動した訓練を実施

- **目的**

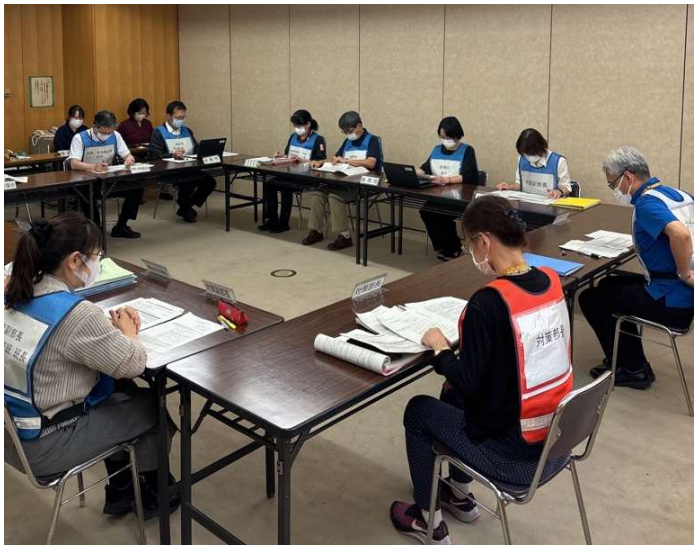
  所内の初動対応について、各自が役割を認識して行動することができる。

- **日時**

  令和６年８月27日（火）11：30～15：30

- **場所**

  中予保健所学生実習室



- **訓練内容**

  ①現地対策部立上げ

  ②合同訓練見学（ＷＥＢ）・参加（電話・現地）

  ③現地対策部会議の開催（積極的疫学調査実施後）

  ④個人防護具（ＰＰＥ）着脱訓練